

社会人基礎力協議会News



第20号 2025年11月29日発行

1 人生100年時代の社会人基礎力育成グランプリ エントリー受付開始！

グランプリ委員会

2025年度の「人生100年時代の社会人基礎力育成グランプリ」へのエントリーを開始しました。出場エントリーは WEB 申請です。エントリー内容の審査を行い、審査結果についてメールにてご連絡します。エントリーした各地区で予選大会を実施し、代表チームを選出、2026年3月12日（木）に開催する全国決勝大会に進出していただきます。今年度の全国大会は対面開催で行います。

各地区予選大会・全国決勝大会スケジュール

日程	内容	備考
2025年11月1日（土）	エントリー（応募）受付開始	Webフォーム受付
2026年1月9日（金）	エントリー（応募）受付終了	17:00締切
2026年1月23日（金）	参加決定チームへの通知（予定）	多少前後する場合アリ



グランプリ情報詳細はこちら

日程	内容	備考
2026年2月11日(水・祝日)	北海道地区予選大会	オンライン開催
2026年2月16日(月)	東北・関東地区予選大会	オンライン開催
2026年2月15日(日)	中部地区予選大会	オンライン開催
2026年2月8日(日)	近畿地区予選大会	オンライン開催
2026年2月22日(日)	中国・四国地区予選大会	対面開催
2026年2月23日(月・祝日)	九州・沖縄地区予選大会	オンライン開催
2026年3月12日(木)	全国決勝大会	対面開催



オンライン開催

発表者 Webex
一般観覧者 YouTube

2 2025年度第1回社会人基礎力学修交流研究会 開催報告

研究委員会

研究委員会では、今年度も対面形式での「社会人基礎力学修交流研究会」を2回開催を計画しております。去る、8月11日（月・祝）にカンファレンス21 福山駅カンファレンスを会場に、2025年度第1回社会人基礎力学修交流研究会を開催しました。

2025年度第1回では、ハワイ大学マノア校東アジア言語文学部准教授の長谷川敦志氏を基調講演にお迎えし、「アメリカにおける社会人基礎力の実践と展望 —ハワイ大学における挑戦と越境型インターンシップ—」と題して、アメリカにおける社会人基礎力に着目した実践の紹介に加えて、当協議会も日本での受け入れに協力している越境型インターンシップの効果についてご紹介いただきました。当日は、来日していた越境型インターンシップに参加する米国大学に所属する学生2名も参加いただき、日本での学びについてご発表いただきました。参加者からも好評な研究会となり、盛況に開催することができました。

2025年度第2回は2026年1月頃の開催（会場：拓殖大学 文京キャンパス）を計画しております。開催日や詳細が決まりましたら、HPIにてご案内させていただきます。是非、皆様のご参加をお待ちしております。



第1回 社会人基礎力学修交流研究会 実施概要

2025年8月11日（月・祝）15:00～17:00

カンファレンス21 福山駅カンファレンス

① 話題提供（基調講演）

「アメリカにおける社会人基礎力の実践と展望
—ハワイ大学における挑戦と越境型インターンシップ—」

講演者：長谷川敦志氏（ハワイ大学マノア校東アジア言語文学部准教授）

② インターン生によるスピーチ・全体ディスカッション

（研究委員会 黒田友貴）

2021年度に社会人基礎力に関する産官学の対話の場としてスタートした年次大会は、今年度5回目となり、昨年を上回る137名にご参加登録いただきました。今後とも、産官学の対話を重ねながら、「社会人基礎力」の普及を目指してまいります。ご参加いただきました皆様、誠にありがとうございました。以下に開催結果の概要をご報告します。

2025年度のテーマは「枠を越えて育成する社会人基礎力」

2025年度は、社会人基礎力の3つの能力／12の能力要素の中から、特に前に踏み出す力に重点を置き、「枠を越えて育成する社会人基礎力」をテーマに掲げました。越境学習や兼業・副業といった、組織や役割の枠を越える活動を通じて、社会で通用する力が培われると私たちは考えております。人生100年時代において、長く活躍し続けるための「社会で通用する力（ポータブルスキル）」とは何か、いま改めてそれを問い直すときに来ているという課題意識から、登壇者と参加者が対話を通じてその本質を共に考える機会となるように企画いたしました。

年次大会プログラム

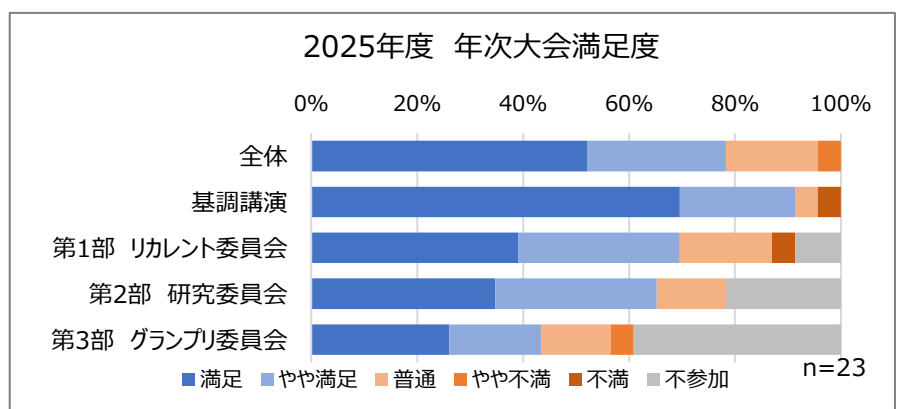
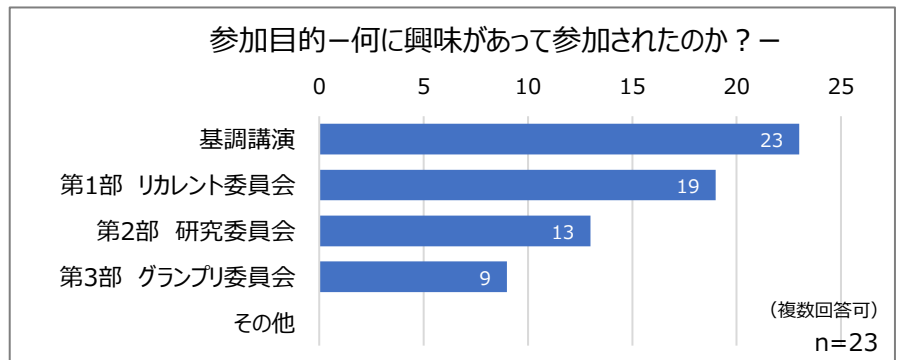
分類	ご登壇者（所属はご登壇当時）
主催者挨拶・協議会講演	「枠を越えて育成する社会人基礎力」 長尾代表理事
基調講演	「越境キャリア：組織の枠を超えて働くということ」 石川県 副知事 浅野大介様
第1部 リカレント委員会 司会：渡邊委員長	企業講演①：「VUCAの時代のキャリア戦略 ～選ばれる人の新常識～」 株式会社morich 代表取締役 森本千賀子様 企業講演②：「組織の枠を越えて、【自分の再起動ボタン】 ～行動変容の起点は、“越境”と“素直さ”～」 株式会社ニフコ エグゼクティブエキスパート 根津 幹夫様
第2部 研究委員会 司会：栗田委員長	講演・話題提供：「日本における社会人基礎力をとりまく研究動向と活用可能性」 黒田友貴委員（研究委員会） ディスカッション： トークゲスト 前田吉広理事
第3部 グランプリ委員会 司会：市川委員長	福岡大学「ベンチャー起業論」全国大会 審査員特別賞/協賛企業団体賞 経済学部産業経済学科 岡祐輔先生、参加学生2名 「ベンチャー企業論」の授業設計、実施の様子に関して掘り下げるパネルディスカッション

ご参加者アンケート結果

参加者向けアンケートによると、本年度の参加動機は基調講演と企業講演へのご興味が高い結果でした。アンケートでは、特に基調講演や企業講演へのコメントが多く寄せられており、人生100年時代に自らのキャリアを切り開いていくこと、ポータブルスキルとしての社会人基礎力への関心の高さが伺えます。満足度も基調講演が最も高い結果でした。後半に「不参加」が増加するのは例年と同様の傾向で、終了時間を昨年の18:50からやや短縮して18:30にしたものの、遅い時間帯であることが影響しているかと思えます。見逃された方はアーカイブ配信のご活用もお願いいたします。

<アンケートに寄せられた主なコメント>

- 基調講演はとてもしリアルかつ「越境」という概念を現実に落とし込んだ例としてとても共感した。中でも、「共通言語」でコミュニケーションを語ることの重要性を痛感した。そこを根気強く通り抜ける気構えが試されるのだということ。齟齬や衝突を恐れず、その向こうにあるビジョンをしっかりと持たなければ本当に意味のある仕事には辿りつけないのではないだろうか。
- 浅野様と森本様の講演は大変参考になった。製菓会社の営業を退職後教育関係の仕事をしていた時に違和感を感じた事。組織の枠を超えて仕事をする事の重要性を改めて痛感した。
- 浅野様と森本様の講演時間が短かった。もっとお話を聴きたかった。森本様の社会が大きく変化しているのだから副業は当たり前と言われて考え方が変わった。
- 転職を是とするような講演内容は、企業経営者としては「ウーン」な感想を持った。一人一人が社会人基礎力を上げていく必要があるという本来の内容があまり感じられなかった。
- 経営者の立場から、どのように人材を結集して人的資本経営をすべきか知りたい。
(2025年次大会実行委員長 渡邊明男)



社会人基礎力協議会では、協力関係のひとつとして、ハワイ大学マノア校を中心としたアメリカ人大学生のインターンシップを支援しています。今年度は7名の学生が来日し、7月～8月にかけて、全国の各企業にてインターンシップを経験しました。

東京では3名が拓殖大学と株式会社エデュレエルシーエーにて日本の大学生と交流および就業体験をしました。拓殖大学では、アメリカの文化を紹介するイベントを拓殖大学の学生とともに企画、実施しました。アメリカ人学生によるアメリカ文化の紹介、クリスマスの伝統的なお菓子作りとペーパークラフトを参加者に体験する内容でした。

国際的な場面でも必要な社会人基礎力

ハワイ大学の学生は、来日までの事前研修にて社会人基礎力について学んでいます。インターン生のLuca Castanedaさんから寄せられたコメントを紹介します。

「今回のイベントを通じて、拓殖大学の学生の皆さんの働きかけカークイベント実施に向けてひとりひとりが考えながら協力して実行したこと、考え抜くカーブレインストーミングしながらみんなで意見を出し合っ内容に絞ったことから学ぶことがたくさんありました。

拓殖大学の歴史、浴衣の着方、折り紙についても学びました。文化の違いを乗り越えて、全員がお互いに優しく、励まし合い、いい仕事をしたと思います。」

社会人基礎力は、日本国内のみならず、国際的な場面でも必要な能力と認識し、本協議会では、世界に向けても発信、普及していきたいと考えます。
(代表理事 長尾素子)



5 2025年度グローバル・インターンシップ交流プログラム (8/12 尾道市編)

2025年8月12日(火)、福山大学「キャリアデザインゼミ」の学生とOB、そしてハワイ大学の長谷川准教授が主催する国際インターンシップ・プログラムに参加しているインターン生との交流会が、尾道市の常称寺(国指定重要文化財)で開催されました。今回の交流会は、福山大学メディア・映像学科2年の村上風華さんをリーダーとして、学生たちが主体的に企画・運営を行いました。学生たちは、これまで学んできた社会人基礎力を実践的に生かしながら、「計画力」や「チームで働く力」を体感的に学ぶ一日となりました。

企画① 折り紙&狩歌(かるた)

集まったメンバーはアメリカからのインターン生2名(カルビンさん、アレイナさん)とキャリアゼミ生8名、そしてゼミOBの2名の合計12名。ジェスチャーを用いたチーム対抗戦や、日本の歌をゲーム感覚で楽しむ狩歌で盛り上がりました。さらに、広島在住の私達にとって平和の象徴でもある折り鶴を折る体験を通じて、国や世代を超えた交流と平和への思いをみんなで共有しました。

企画② お経&袈裟体験

お経体験では、最初はゆっくりと詠み始め、徐々にスピードを上げ、最終的には自然なテンポで唱えることで、お経独特のリズムを味わいました。その後、カルビンさんが木魚を叩き、力強くも安定した音で場を盛り上げました。普段太鼓を叩いている彼の巧みなリズム感により、お経と音の響きが一体となり、印象深い体験になりました。その後、袈裟も着せてもらいました。

企画③ 習字体験

習字体験では、一人ひとり順番に好きな文字や絵を書き、自由に個性あふれる作品が並びました。アレイナさんは「檸檬」や「薔薇」といった難しい漢字を美しく書き上げ、カルビンさんはインターンで学んだ「社会人基礎力」の言葉を丁寧に表現しました。最後は全員で一文字ずつ「キャリアデザインゼミ&カルビン&アレイナ」と記し、思い出に残る共同作品を完成させました。



長い歴史を持つ尾道のお寺を舞台に、学生たちが新たな挑戦に取り組んだ国際インターンシップ交流会@尾道市。キャリアデザインゼミでは、今後も学生主体の活動を通して社会人基礎力の育成を積極的に推進します。(協議会広報担当 前田吉広)

社内人基礎力協議会では、協賛企業であるウチダ人材開発センタによる新入社員向け研修「ウチダカレッジ」の監修を実施しました。ウチダカレッジのご紹介は以下のURLおよび右記QRコードからご参照ください。
<https://www.uhd.co.jp/training/class/rookie/rookie01.html>



2023年度：社会人基礎力診断シートを監修

ウチダカレッジで使用されていた、社会人基礎力診断シートを監修しました。当該社会人基礎力診断シートは、社会人基礎力の12の能力要素にそれぞれ4つの設問を設定し作成されたものでした。協議会の代表理事と、各委員会の委員長の協力のもと、受講者にとってわかりやすく、設問と社会人基礎力のひとつひとつの能力要素を發揮する活動を段階的に表現して、新入社員世代の社員社会人基礎力の評価精度を向上させました。

2024年度：研修の中で社会人基礎力を育成する仕掛けを検討

2年目の監修活動では、研修のなかで何をやるか？その仕掛けを検討しました。チーム活動の中でリーダーを経験させること、および演習の目標設定をすること、この2点に重点を置き各種研修のなかで社会人基礎力を育成する仕掛けとして検討し、各所に盛り込んでいきました。

2025年度：講師対象に社会人基礎力講習を実施しチームワーク育成

3年目の監修活動は、ウチダカレッジの講師の方々を対象に研修を実施しました。これにより、講師の方々に社会人基礎力の理解を深めていただき、担当する研修のなかで受講者への働きかけ、受講者を観察する視点の重要性をご理解いただけたと思います。さらに、検討の中からチーム活動としての「ランチマップ作製」を課題にしてチームで働く力の育成を試みました。今後も、社会人基礎力の育成を促進するために監修活動を続けて参ります。

ウチダ人材開発センタ様のコメント

弊社主催のウチダカレッジでは、技術力を伸ばすだけでなく、その技術を実践していく力である「チームワーク」や、ヒューマンスキルとしての「アクション」・「シンキング」=社会人基礎力を非常に重要であると位置づけています。社会人基礎力協議会に毎年監修いただいております。Z世代・α世代と学生の価値観が変わっていく中で新人研修も変化が必須の世の中で、社会人基礎力への取組みは一層強みになると考えています。
 (委員長 渡邊明男)

一般社団法人社会人基礎力協議会監修 同協議会の各分野で活躍されている専門家の力を監修しています

一般社団法人
社会人基礎力協議会

同協議会は「人生100年時代の社会人基礎力」のスタートとともに、2018年4月に一般社団法人となり、これまで以上に多くの個人の企業・組織・社会との関わりの中で、ライフステージの各段階で活躍し続けるために求められる「人生100年時代の社会人基礎力」可成の調査・研究・普及活動を進め社会に貢献されています。

<p>代表理事 長尾 素子 様</p> <p>ドイツ銀行で貿易実務に従事したのち、大学院にてコミュニケーション論を専攻。 拓殖大学商学専攻教授・株式会社 TOKYO GLOBAL GATEWAY(東京都英彦町)取締役COO</p>	<p>グランプリ委員会 委員長/理事 市川 純幸 様</p> <p>東京理科大学大学院工学研究科博士課程修了。知能ロボティクスの研究に従事。現在企業専攻・東京理科大学工学部教授。同地域連携総合センター長兼務。地域プロジェクトおよび地域を学びの場とした授業等を企画運営。</p>
<p>研究委員会 委員長/理事 栗田 るみ子 様</p> <p>大学院で教育工学を専攻した後、大学でWebデザイン講習やSTEAMリーダー講習会を指導。また日本商工会議所主催のIT系検定の教材開発を担当。 城西大学経営学専攻教授・日本商工会議所検定委員</p>	<p>リカレント委員会 委員長/理事 渡邊 明男 様</p> <p>09年富士ゼロックスに入社、ソフトウェアの開発や企画を経て、現在も富士フイルムビジネスイノベーションジャパンにシニアアソシアテッドマネージャーとして勤務中。入社31年目に大学院に入學し社会人基礎力を研究。</p>

2025年度の協議会機関誌「社会人基礎力研究」(第7号)の投稿論文を募集中です。「社会人基礎力研究」は、社会人基礎力協議会における研究活動を広く世に問うことを目的として、年1回発行しているものです。会員の皆様の投稿をお待ちしております。詳細は、社会人基礎力協議会HPの『「社会人基礎力研究」投稿論文募集のご案内』をご参照ください(下記QRコード)。

募集概要

原稿種類： 研究論文、研究ノート、事例報告、評論、その他、研究委員会が認めたもの(いずれも社会人基礎力関連テーマ)

投稿資格： 原則として会員、共著の場合は執筆者に1人以上会員が含まれていること

(会員以外からの投稿は会員の推薦をもって認める)

提出方法： 社会人基礎力協議会研究委員会にメールにて提出
 件名に「機関誌投稿原稿」、メール内容に責任著者の氏名、所属、電子メールアドレスを記載

宛先： e-mail : kenkyu@biz100.org

締切日： 2025年12月19日(金) 正午まで

問合せ先： 社会人基礎力協議会 研究委員会 e-mail : kenkyu@biz100.org

(委員長 栗田るみ子)



編集後記



ニュースレターへのご意見・ご要望募集

2025年度 社会人基礎力育成グランプリのエントリーが受付開始となりました。常連校はもちろん、初めてご参加いただく大学からの、多くのチームのエントリーをお待ちしております！このNewsでは大学や企業における社会人基礎力強化に役立つ情報を取り上げていきます。会員の皆様からの事例情報を随時募集しております。記事へのご意見、取り上げて欲しいテーマのご要望などもお待ちしております。左記QRコードの協議会HP「お問合せ」フォーム、または、下記事務局メールへお気軽にご連絡ください。よろしくお願い申し上げます。

(担当：研究委員会副委員長 人材開発コンサルタント 山崎 紅)